

を総括した衛生加工であり、有機水銀剤、有機錫剤、フェノール系等の衛生加工剤は主として防黴、防菌に効力を持ち、特に有機水銀剤はその効果のあることを報告した。今回は主として、防菌、防臭を目的とした新抗生物質を繊維に応用して、衛生加工処理を行なった。

2. 抗生物質は内服医薬品として、市販されているもので、新抗生物質 Dextromycin は、特に細菌類を中心とした衛生加工剤（T社製）であり、毒性も前記薬剤に比較して非常に少ないもので、これを繊維に加工処理した。効果試験としては、AATCC記載の方法で、試験布を培地に貼付して、布の周囲に細菌の無菌地帯の量（Halo）を評価する Halo-test によった。各濃度で処理した試験布を Dextromycin 検定用培地に貼りつけた試験菌として *Bacillus subtilis* PCI 219 を用い、33°C 18時間培養した。

3. その結果、2γ/cc以上の薬剤濃度では、完全に *B. subtilis* の発育を抑制した。

20. 抗生物質による被服の衛生加工処理に関する

一実験

大阪市立大 田中 道一
○弓削 治

1. 繊維製品の衛生加工は、その貯蔵中に微生物が繁殖して損傷を受けることを防ぐための、防黴加工として始まった。すでに報告してきた著者等の研究は防黴加工のみならず、防菌、防臭、防腐、防虫、防汚などの加工